

参 考 資 料 編

参考資料1 アンケート・聞き取り調査結果

アンケート結果

1 公共交通利用に関するアンケート

(1) 回答者の属性

- ・年齢階層を見ると高齢者の割合が約46%と多い。特に、平田・市辺地域、玉緒・御園地域で高く、50%以上となっている。
- ・家族構成を見ると、「単身」「夫婦のみ」が約43%となっている。
- ・「自由に車（マイカー）利用できる人」が約78%と多いが、「運転免許証をもっていない」等の理由で車（マイカー）を利用できないとの回答が約6人に1人となっている。
- ・年齢別の車（マイカー）利用頻度を見ると、「70歳以上」では車（マイカー）の利用頻度が大きく減少している。
- ・「将来、運転免許証を自主返納したい」と回答している人は約43%であるが、「60歳以上」で「自主返納したい」と回答している人の割合は他の年代より高くなっている。

ア 居住地

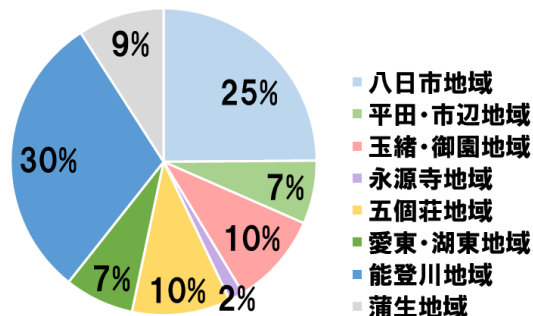


図 地域別居住地

ウ 職業

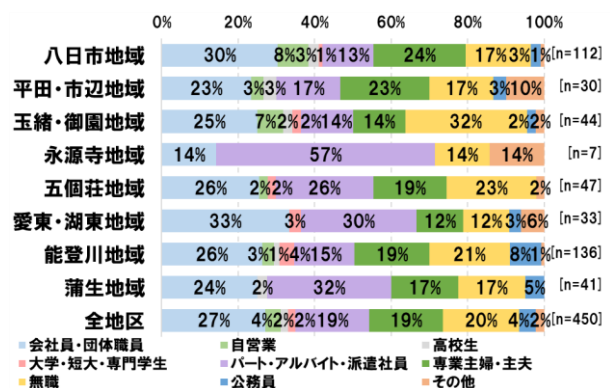


図 地域別職業割合

イ 年齢

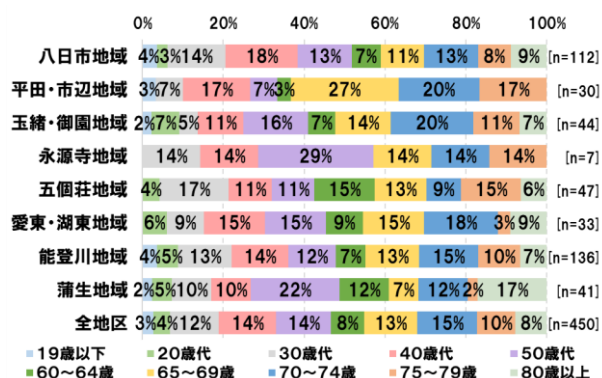


図 地域別年齢割合

エ 家族構成

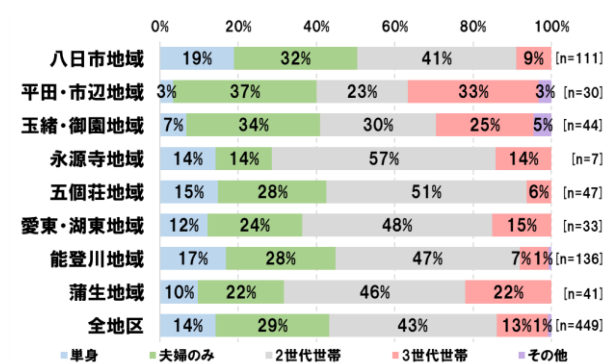


図 地域別家族構成割合

オ 車（マイカー）利用について

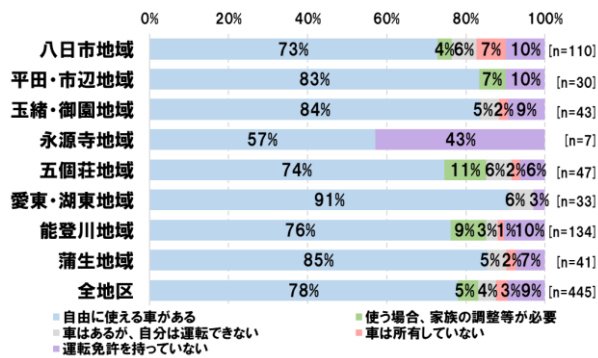


図 地域別車（マイカー）利用割合

キ 運転免許証の自主返納について

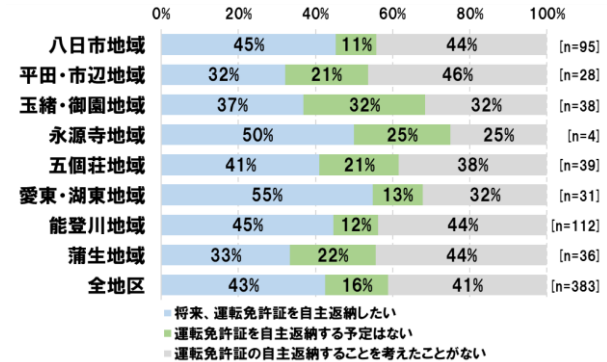


図 年齢階層別運転免許自主返納意向

カ 車（マイカー）の利用頻度

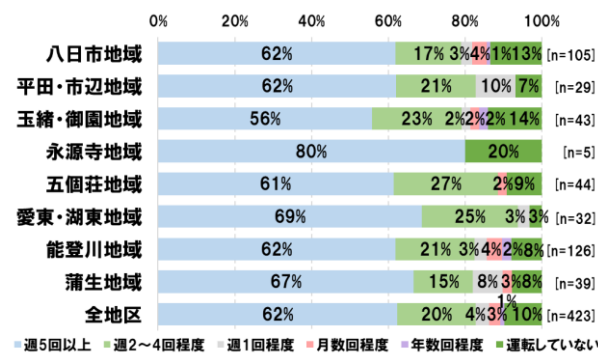


図 地域別車（マイカー）利用頻度

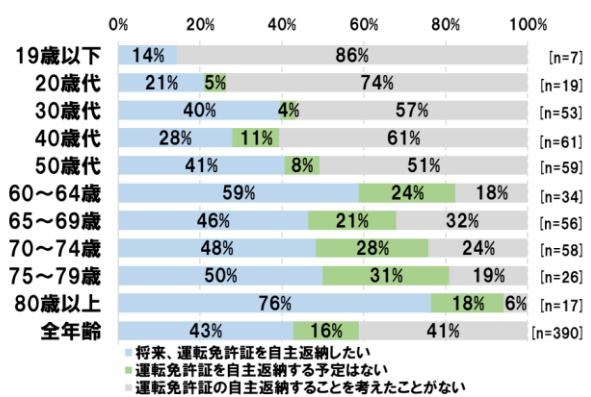


図 地域別運転免許自主返納意向

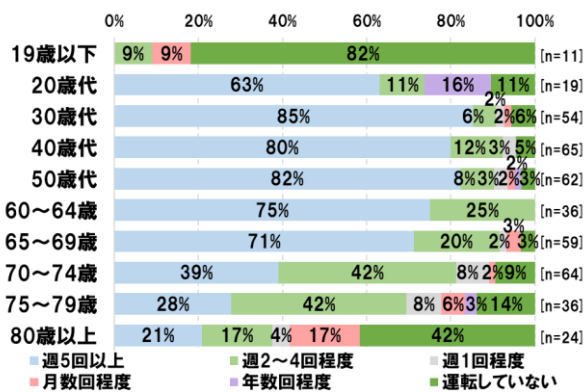


図 年齢階層別車（マイカー）利用頻度

※永源寺地域はサンプル数が少ないため、参考とする。

(2) 日常生活での行先と移動手段

ア 通勤・通学時

通勤・通学の目的地は市外が約 50%

- ・通勤・通学の目的地は、「市内」が約 50%、「市外」が約 50%と同数となっている。
- ・地域別に見ると、平田・市辺地域、五個荘地域、能登川地域、蒲生地域では「市外」の割合が多く、50%を超えている。
- ・移動手段を見ると、「マイカー（自分で運転）」が約 77%で最も多く、次いで「JR」が約 13%で多い（徒歩・自転車除く）。
- ・通勤・通学における出発時間は「7 時台」「8 時台」が約 66%と集中しているが、帰宅時間は「17 時台」から「20 時台」は約 67%と幅広い。

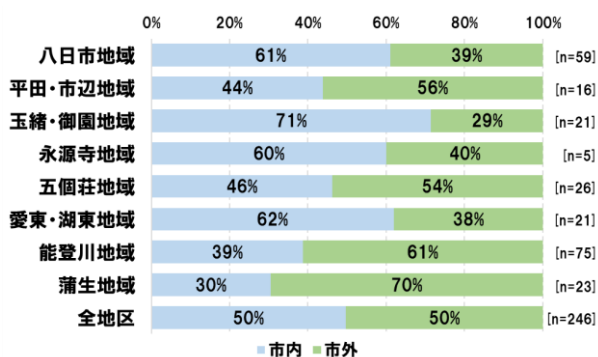


図 地域別通勤・通学の目的地

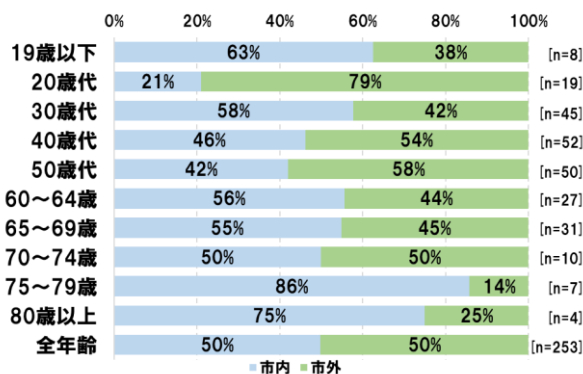


図 年齢階層別通勤・通学の目的地

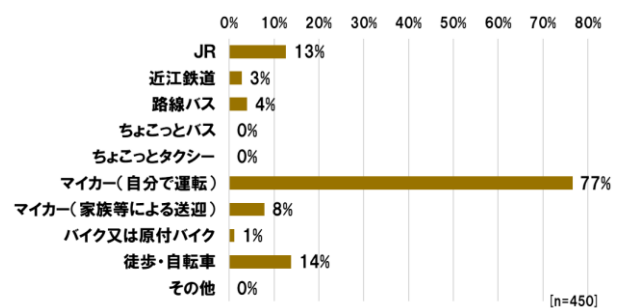


図 通勤・通学における移動手段

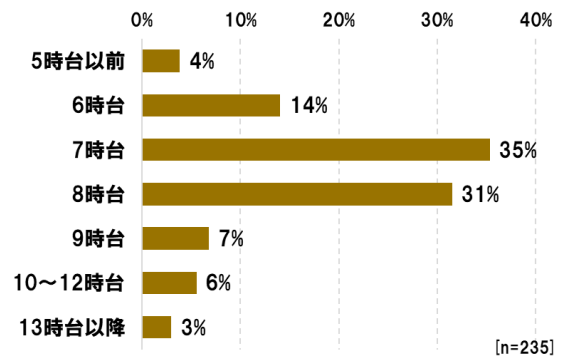


図 通勤・通学における出発時間

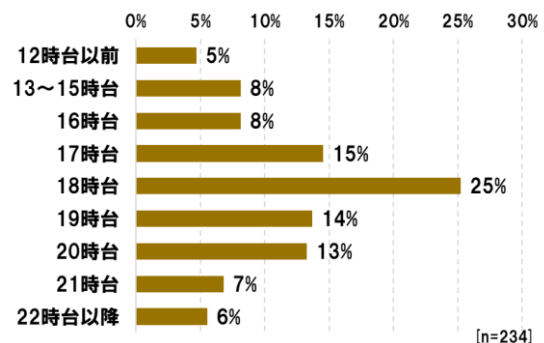


図 通勤・通学時における帰宅時間

イ 買物時

買物の目的地は市内が約 87%

- ・ 買物の目的地は、「市内」が約 87%と大半を占めている。
- ・ 地域別に見ると、能登川地域、蒲生地域では「市内」の割合が他の地域よりも少なく、80%以下となっている。
- ・ 年齢階層別に見ると、「65 歳以上」において「市内」の割合が多く、90%を超えている。
- ・ 移動手段を見ると「マイカー（自分で運転）」が約 88%で最も多く、次いで「マイカー（家族等による送迎）」「徒歩・自転車」となっており、主たる移動手段が車（マイカー）となっている。

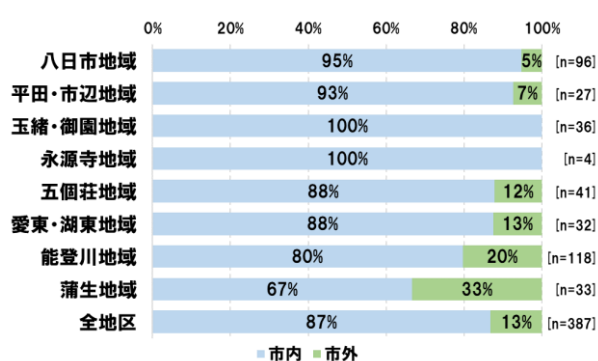


図 地域別買物の目的地

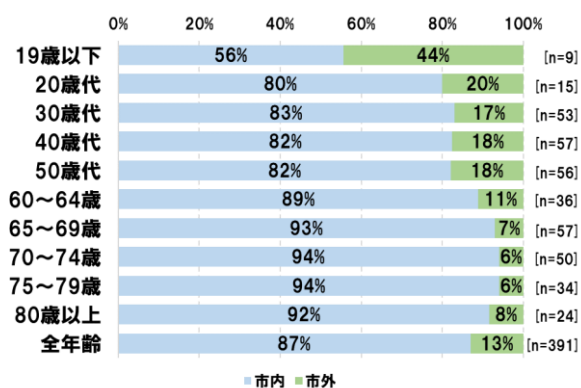


図 年齢階層別買物の目的地

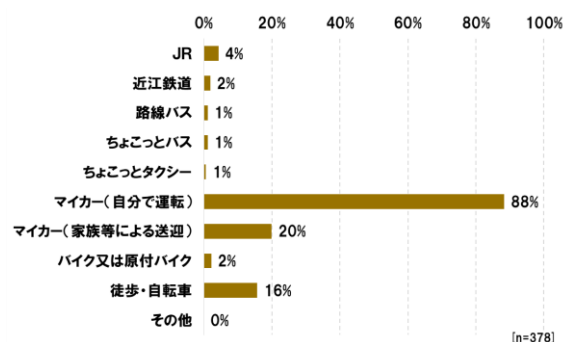


図 買物における移動手段

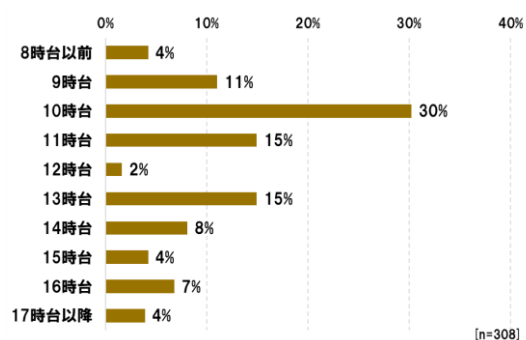


図 買物時における出発時間

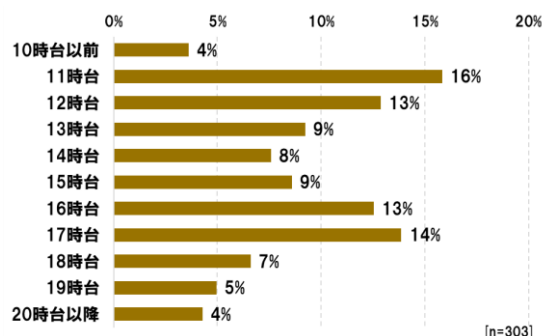


図 買物時における帰宅時間

ウ 通院時

通院の目的地は市内が約 83%

- ・通院の目的地は、買物同様に「市内」が約 83%と大半を占めている。
- ・地域別に見ると、五個荘地域、能登川地域、蒲生地域で「市内」の割合が少なく、80%以下となっている。
- ・年齢階層別に見ると、「30 歳代」から「50 歳代」「80 歳以上」では、他の年代よりも「市外」への通院割合が高く、25%以上となっている。
- ・移動手段を見ると、「マイカー（自分で運転）」が約 89%で最も多く、買物同様に主たる移動手段が車（マイカー）となっている。
- ・時間帯を見ると、出発時間は「9 時台」「10 時台」が約 58%を占めており、帰宅時間は「11 時台」「12 時台」が 43%と午前中の通院が多い。

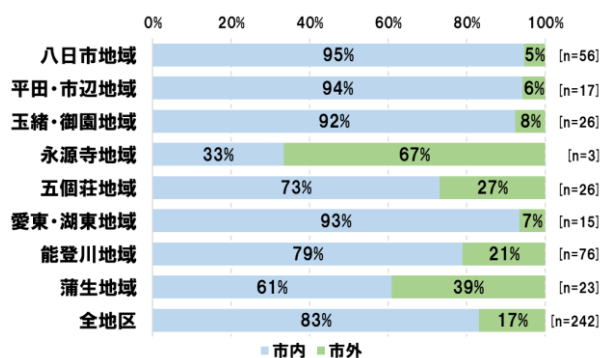


図 地域別通院の目的地

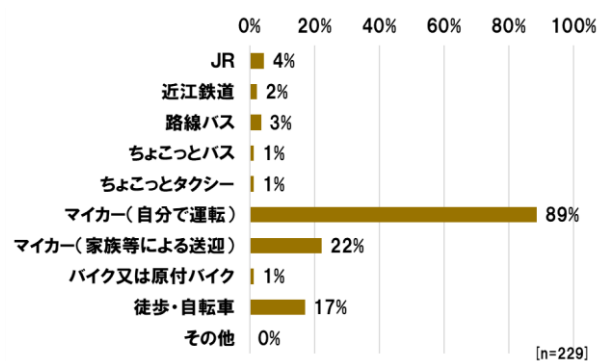


図 通院における移動手段

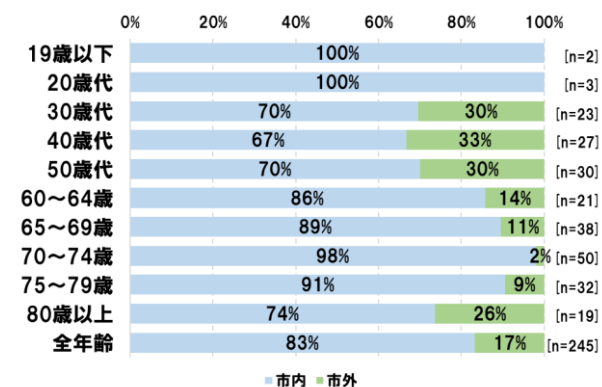


図 年齢階層別通院の目的地

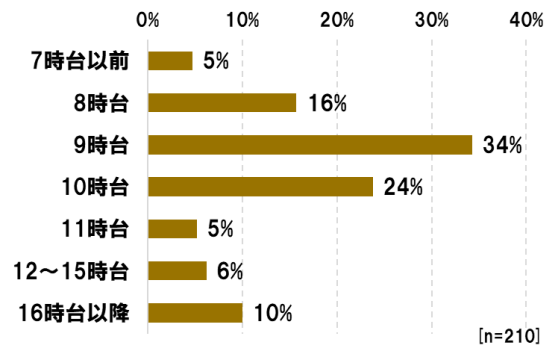


図 通院時における出発時間

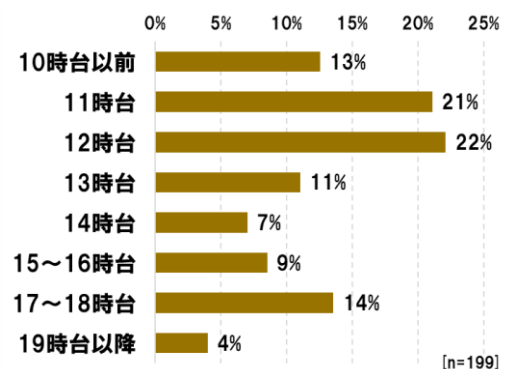


図 通院時における帰宅時間

(3) 公共交通の利用状況

ア 利用頻度

J Rを年数回程度以上利用したことがあると回答した市民は約 60%

- ・ J Rの利用頻度は「年数回程度」利用する人が約 42%で最も多く、週 5 回以上は約 6 %となっている。
- ・ 地域別に見ると、能登川地域の利用が多く、「週 5 回以上」の人が 10%を超えている。
- ・ 年齢階層別に見ると、年代に関わらず J Rを「年数回程度」以上利用している。

近江鉄道を年数回程度以上利用したことがあると回答した市民は約 22%

- ・ 近江鉄道の利用頻度は「1 年以上利用していない」人が約 43%で最も多く、「1 度も利用したことがない」人と合すると約 78%を占めている。
- ・ 地域別に見ると、近江鉄道を「年数回程度以上の利用がある」と回答した割合が最も高いのは八日市地域で約 43%、次いで玉緒・御園地域が約 32%となっているが、同じ近江鉄道沿線である蒲生地域では約 12%と低くなっている。

路線バスを年数回程度以上利用したことがあると回答した市民は約 15%

- ・ 路線バスの利用頻度は、「1 度も利用したことがない」人が約 51%で最も多く、「1 年以上利用していない」人と合すると 85%を占めている。
- ・ 地域別に見ると、八日市地域、平田・市辺地域、愛東・湖東地域、能登川地域では利用が少なく、「1 度も利用したことがない」人が 50%を超えている。
- ・ 年齢階層別に見ると、20 歳代以下で、通学利用で「週 5 回以上」利用する人が僅かにあるが、そのほかの年代では「週 5 回以上」の利用はなく、通勤での利用者はいない。

ちょこっとバス・ちょこっとタクシーを年数回程度利用したことがあると回答した市民は約 8 %

- ・ ちょこっとバス・ちょこっとタクシーの利用頻度は、「1 度も利用したことがない」人が約 73%で最も多く、「1 年以上利用していない」人と合わせると 91%を占めている。
- ・ 地域別に見ると、八日市地域、玉緒・御園地域、愛東・湖東地域、能登川地域では「年数回程度」以上の利用が 10%を超えている。

○JR

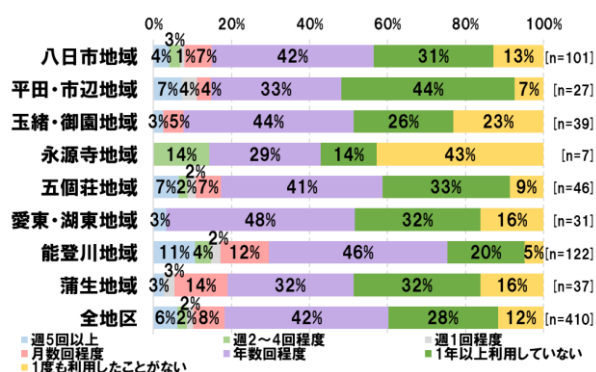


図 地域別利用頻度

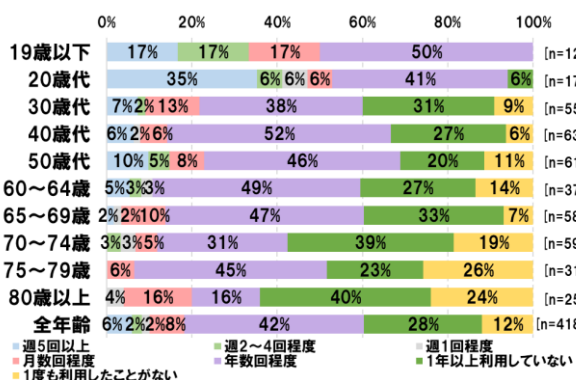


図 年齢階層別利用頻度

○近江鉄道

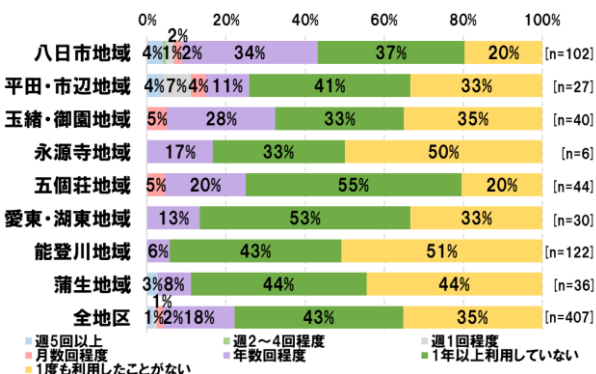


図 地域別利用頻度

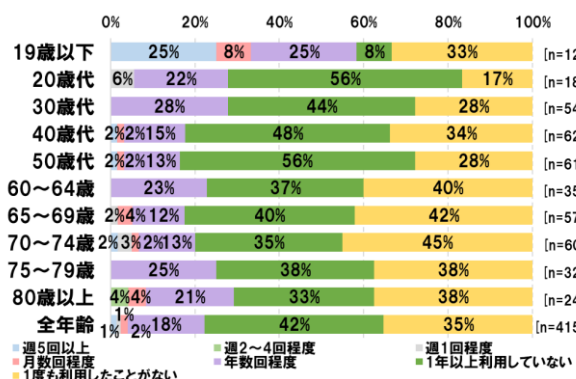


図 年齢階層別利用頻度

○路線バス

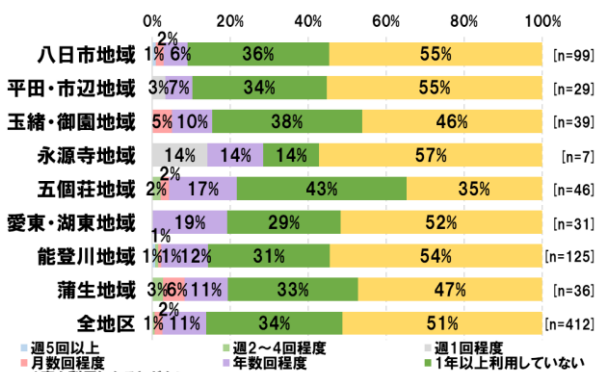


図 地域別利用頻度

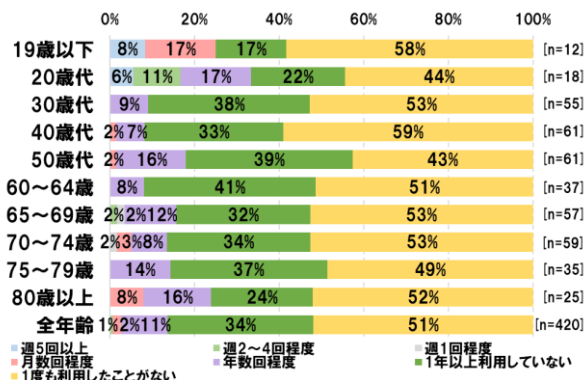


図 年齢階層別利用頻度

○ちよこっとバス・ちよこっとタクシー

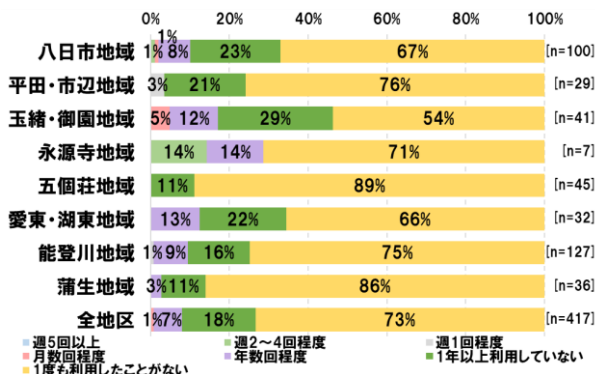


図 地域別利用頻度

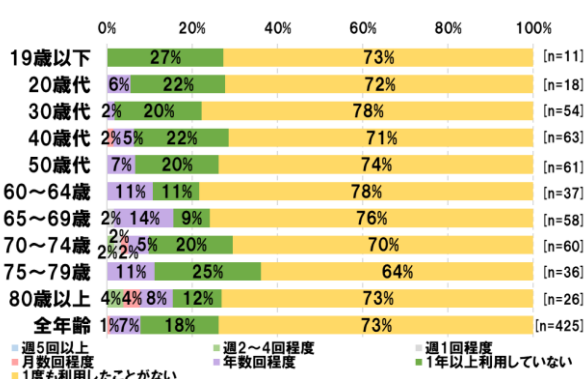


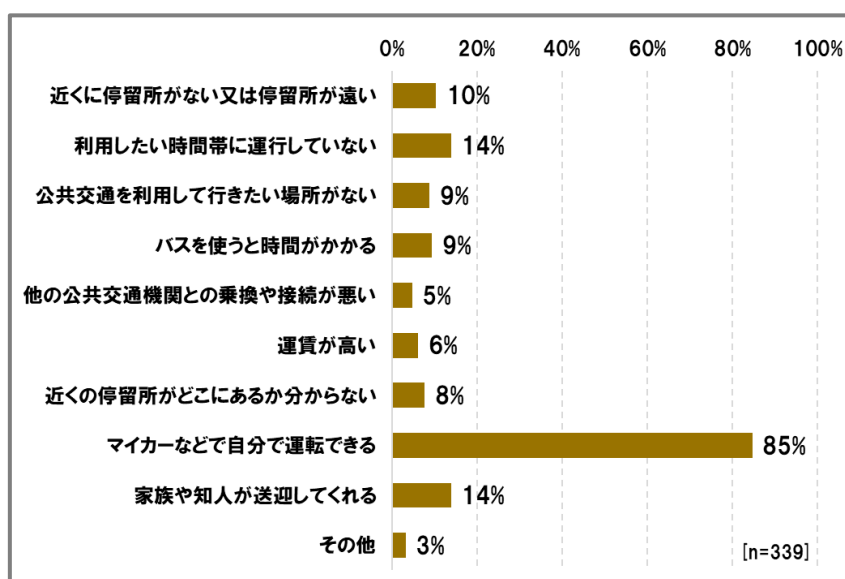
図 年齢階層別利用頻度

イ 路線バス、ちょこっとバス・ちょこっとタクシーを利用しない理由

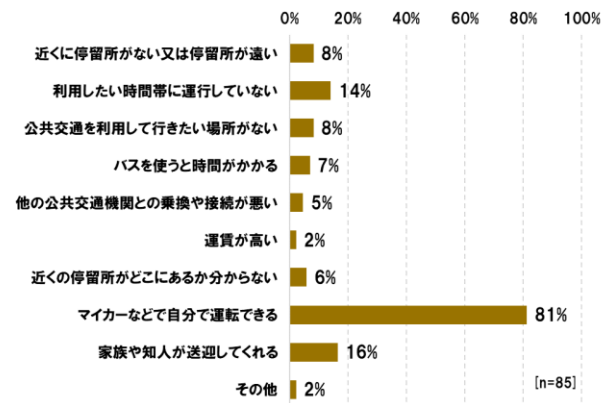
路線バス、ちょこっとバス・ちょこっとタクシーを利用しない理由は「マイカーなどで自分で移動できる」が大半

- ・路線バス、ちょこっとバス・ちょこっとタクシーを利用しない理由としては、「マイカーなどで自分で運転できる」が約 85%で圧倒的に多い。
- ・それ以外では、「利用したい時間帯に運行していない」「家族や知人が送迎してくれる」が約 14%、「近くに停留所がない又は停留所が遠い」が約 10%となっている。
- ・地域別に見ると、「近くに停留所がない又は停留所が遠い」を挙げる人は、八日市地域や能登川地域で少ない一方、玉緒・御園地域や五個荘地域、愛東・湖東地域で多い。また、「利用したい時間帯に運行していない」を挙げる人は平田・市辺地域や玉緒・御園地域で多く、20%以上となっている。

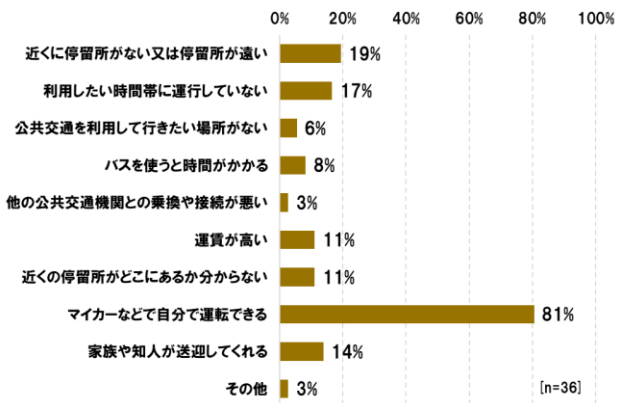
【全地域】



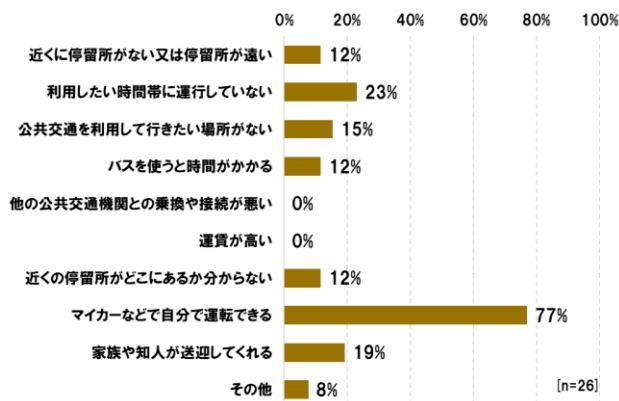
【八日市地域】



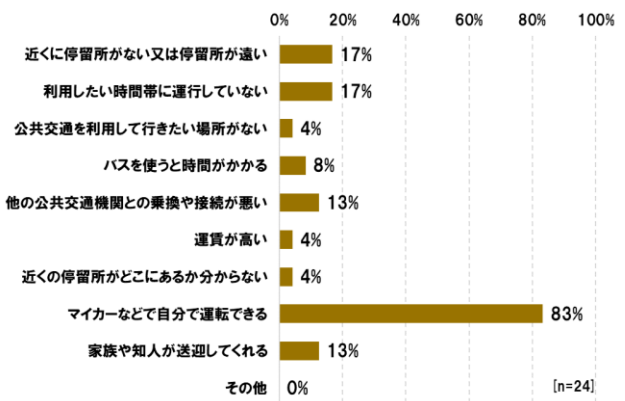
【五個荘地域】



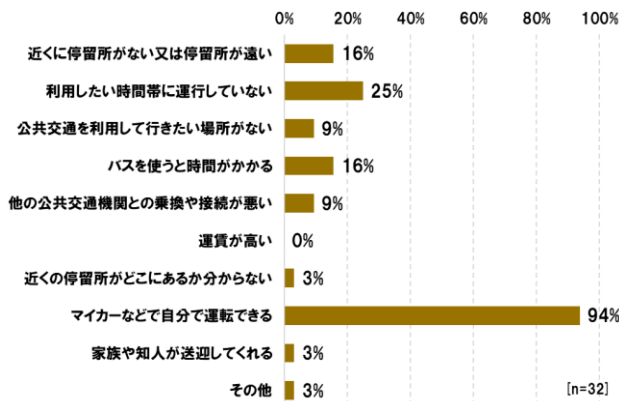
【平田・市辺地域】



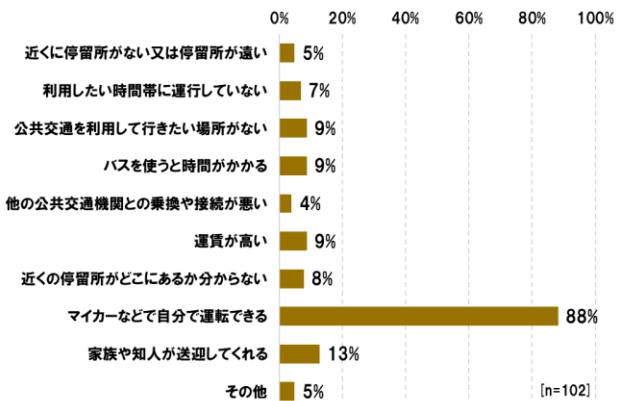
【愛東・湖東地域】



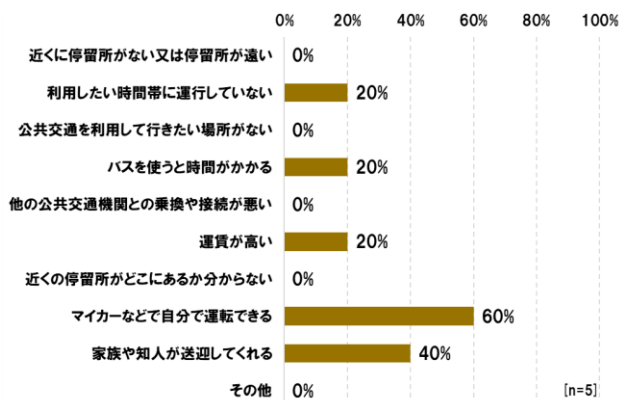
【玉緒・御園地域】



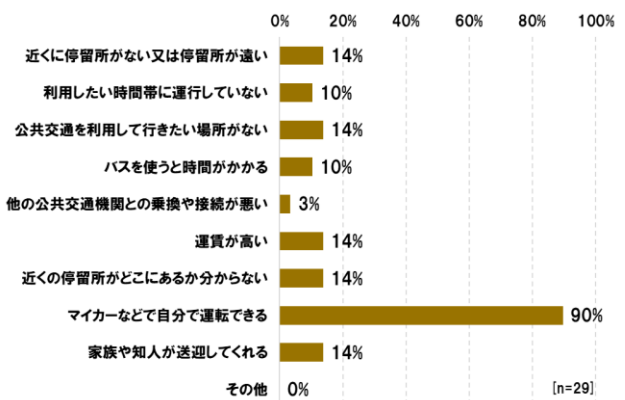
【能登川地域】



【永源寺地域】



【蒲生地域】

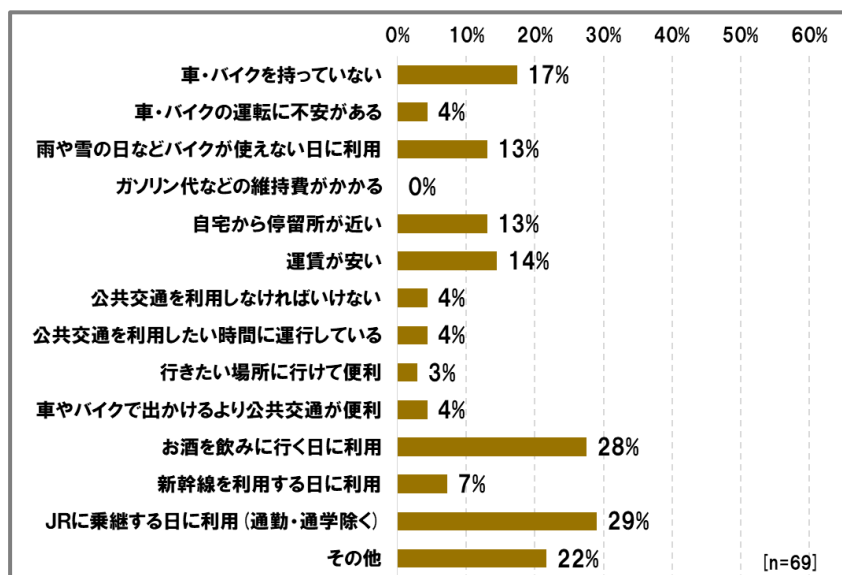


ウ 路線バス、ちょこっとバス・ちょこっとタクシーを利用する理由

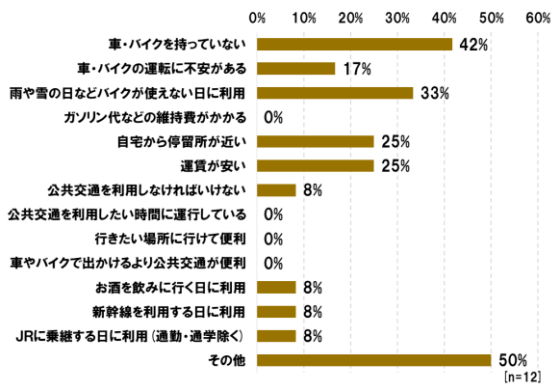
路線バス、ちょこっとバス・ちょこっとタクシーを利用する理由は、広域移動や飲酒を伴うおでかけ等が約 30%近く、移動手段の制約が多い。

- ・ J R を利用した広域移動や飲食を伴うおでかけにおいて、路線バス、ちょこっとバス・ちょこっとタクシーを利用するとの回答が約 30%近くある。
- ・ 「車やバイクを持っていない」 が約 17%、「雨や雪の日等バイクが使えない日に利用」が約 13%等、移動手段に制約がある場合に利用するとの回答がある。
- ・ 「運賃が安い」 が約 14%、「自宅から停留所が近い」が約 13%等、公共交通を利用しやすい環境があると利用するとの回答がある。

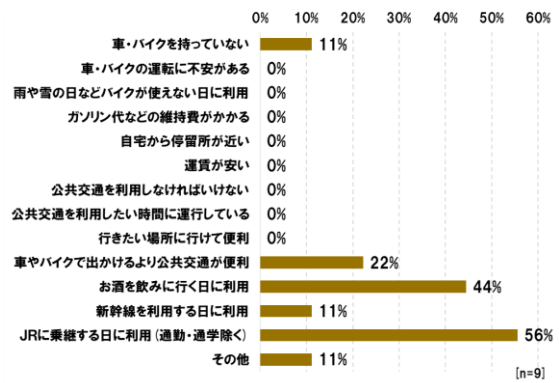
【全地域】



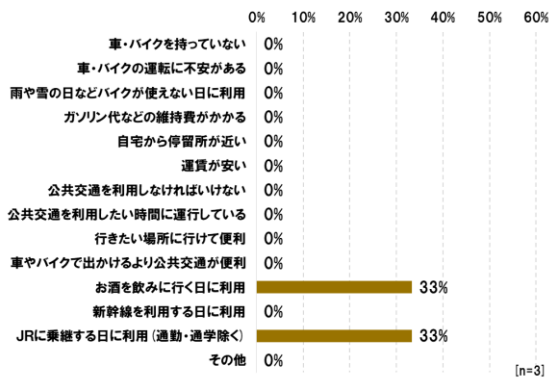
【八日市地域】



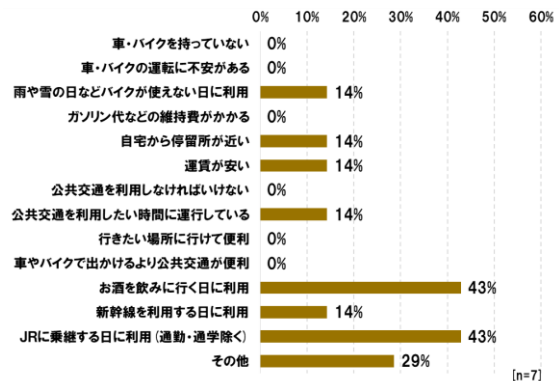
【五箇荘地域】



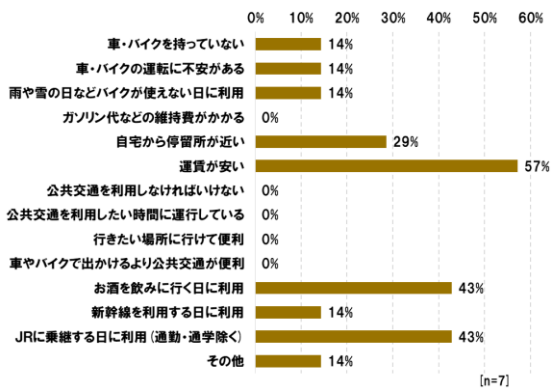
【平田・市辺地域】



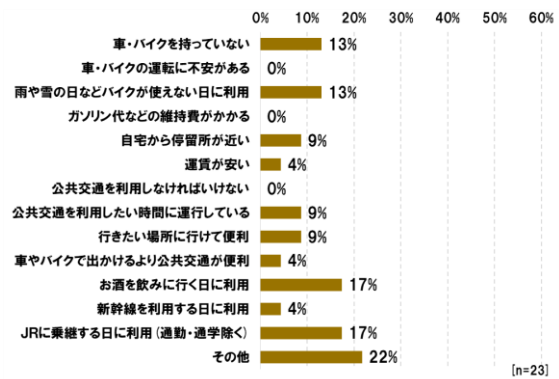
【愛東・湖東地域】



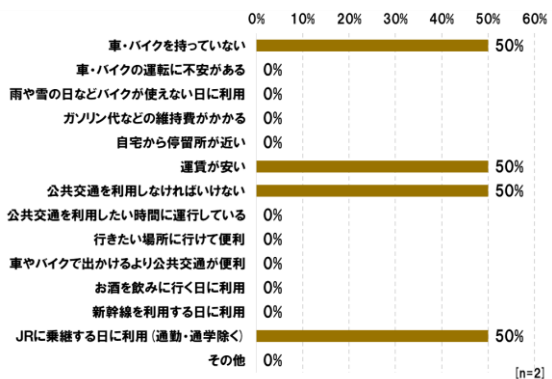
【玉緒・御園地域】



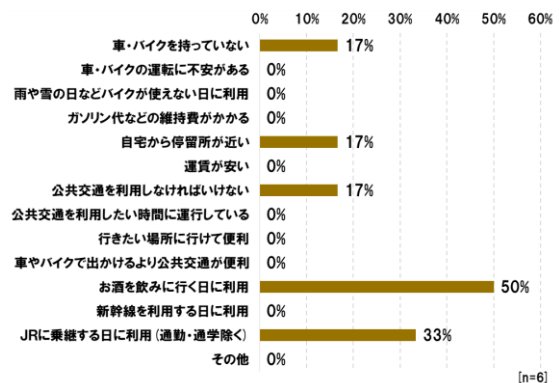
【能登川地域】



【永源寺地域】



【蒲生地域】

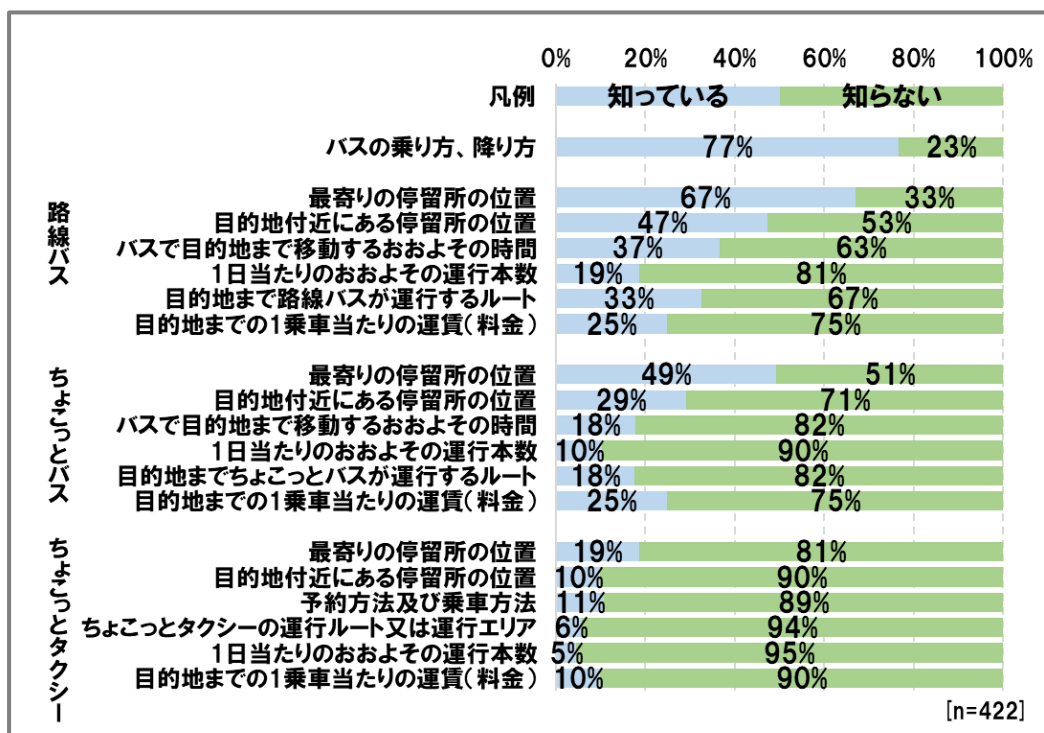


(4) 公共交通に対する認知度

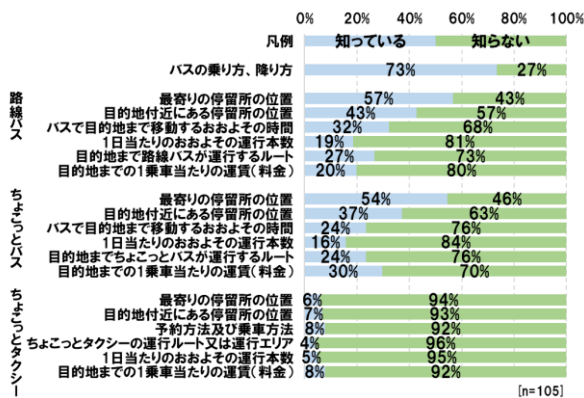
ちょこっとバス・ちょこっとタクシーの利用に関する認知度は総じて低い

- ・路線バスと比較して、利用が少ないこともあり、ちょこっとバス・ちょこっとタクシーに関する情報の認知度は総じて低い。
- ・路線バスの利用に関する認知度では、「最寄りの停留所の位置」「目的地付近にある停留所の位置」等の認知度は比較的高いが、「運行本数」「運賃」に関する認知度が低い。
- ・ちょこっとバスの利用に関する認知度では、「最寄りの停留所の位置」の認知度は比較的高いが、それ以外の項目の認知度が低い。
- ・ちょこっとバスで比較的用户が多い南部御園線が通る玉緒・御園地域、愛東線及び湖東線が通る愛東・湖東地域においても「運行本数」に関する認知度は10%前後の認知度に留まっている。
- ・ちょこっとタクシーの利用に関する認知度では、総じて認知度が低いが、特に「運行エリア」「運行本数」に関する認知度が10%未満となっている。
- ・ちょこっとタクシーを運行している地域で、利用に関する認知度を比較すると、五個荘地域での認知度が他の地域より低く、全項目10%に満たない。

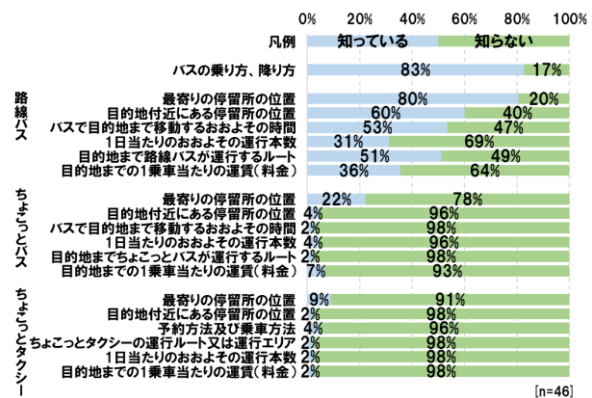
【全地域】



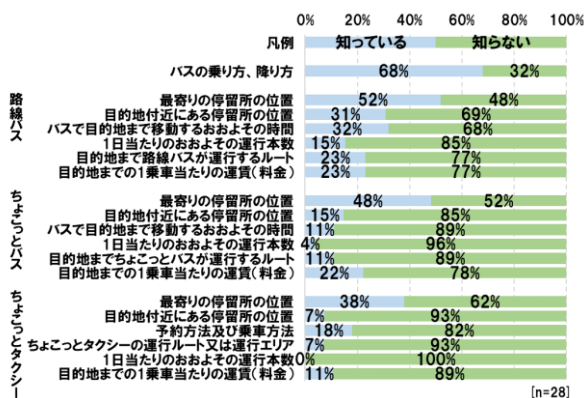
【八日市地域】



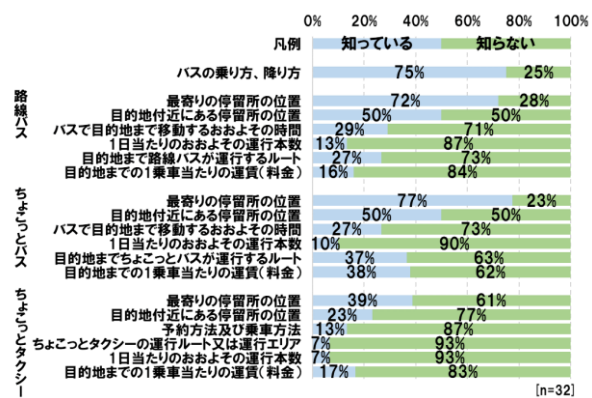
【五個荘地域】



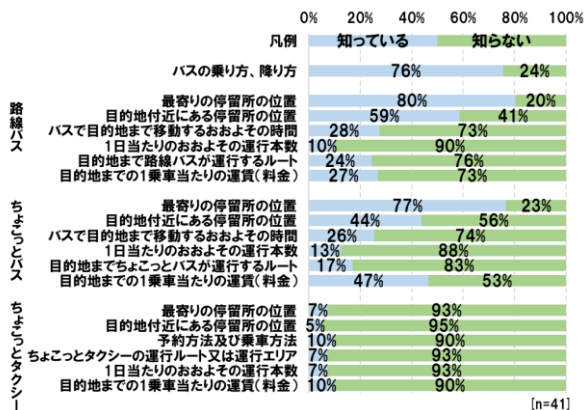
【平田・市辺地域】



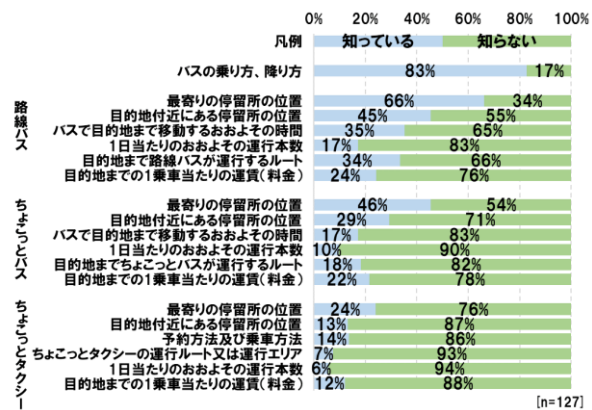
【愛東・湖東地域】



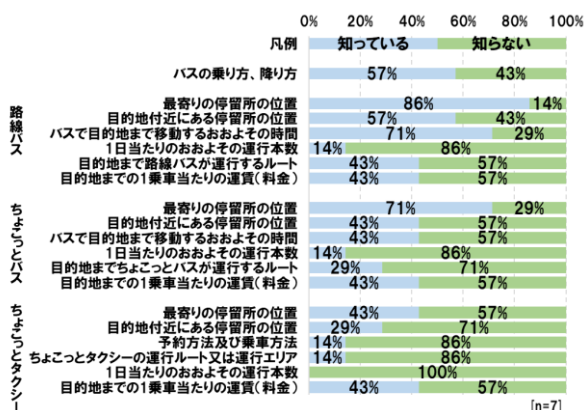
【玉緒・御園地域】



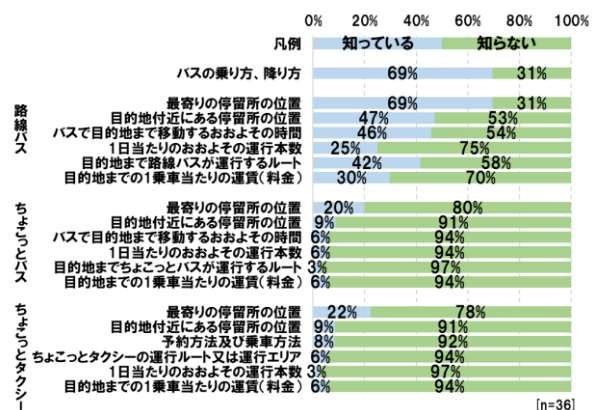
【能登川地域】



【永源寺地域】



【蒲生地域】



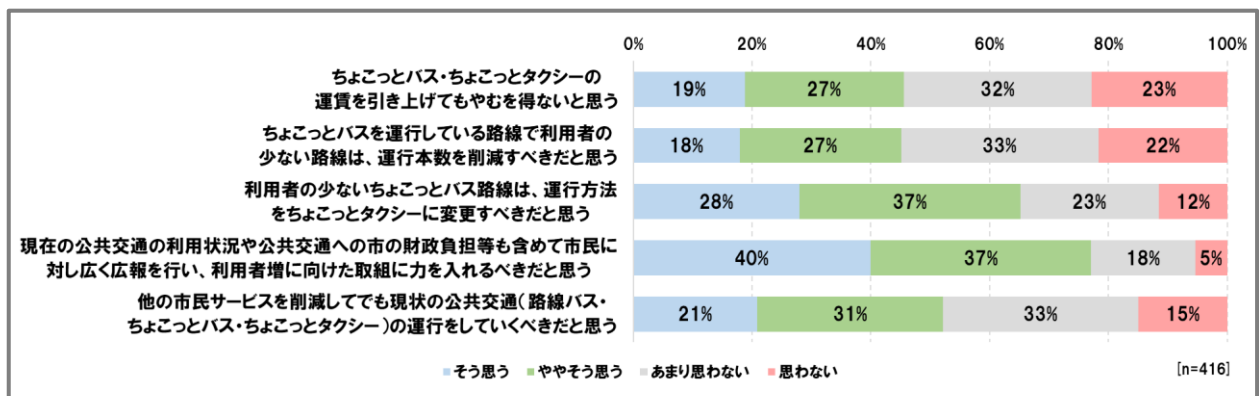
(5) 将来の公共交通に対する考え

ア 公共交通を将来にわたって運行していくための考え

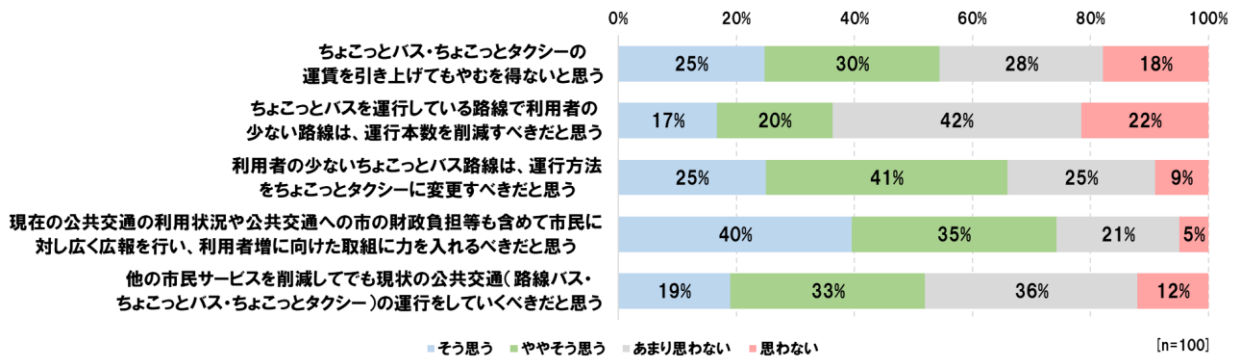
市民の多くはちょこっとバス・ちょこっとタクシーの必要性を認識し、行政に対して公共交通利用に係る情報発信をしていくことを求めている

- ・「広く広報を行い、利用者増に向けた取組に力を入れるべき」は約 77%（そう思う＋ややそう思う）が賛同しており、ちょこっとバス・ちょこっとタクシーの必要性を認めている。
- ・ちょこっとバス・ちょこっとタクシー運賃の値上げは、反対が約 55%と賛成を僅かに上回っている。地域別に見ると、玉緒・御園地域、能登川地域、蒲生地域では反対が約 60%を超えている。
- ・「他の市民サービスを削減してでも現状の運行を維持すべき」と考える人とそうでない人の意見は拮抗しており、公共交通に係る過度な財政負担増とならないよう、官民一体で公共交通利用者の増加を目指していく必要がある。
- ・ちょこっとバスの利用者が少ない路線に対しては「運行本数削減」に賛成よりも、「ちょこっとタクシーへの運行形態に変更」に賛成の割合が多い。

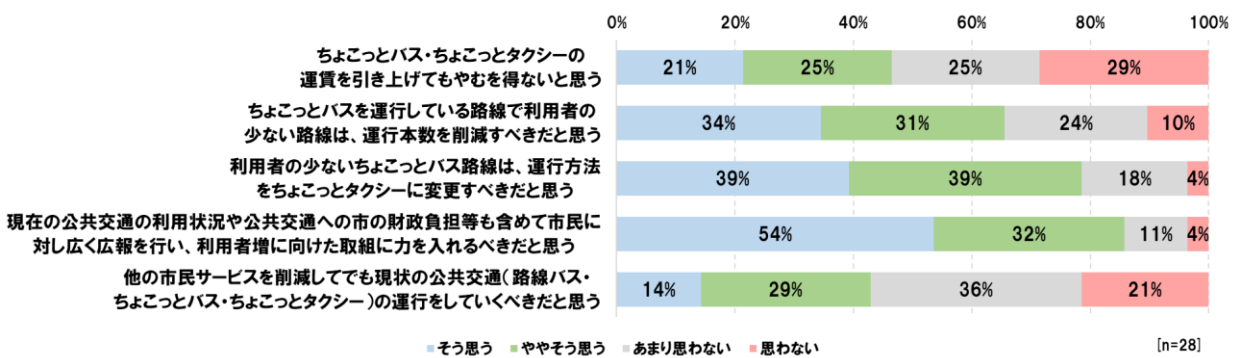
【全地域】



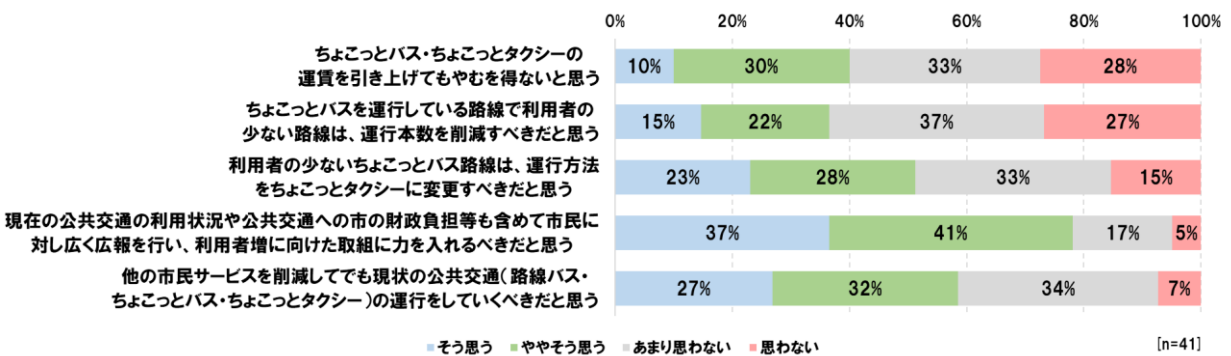
【八日市地域】



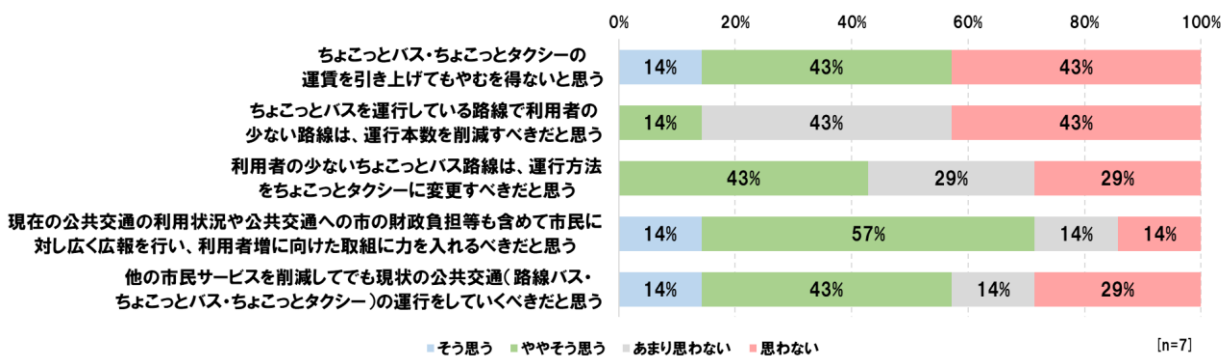
【平田・市辺地域】



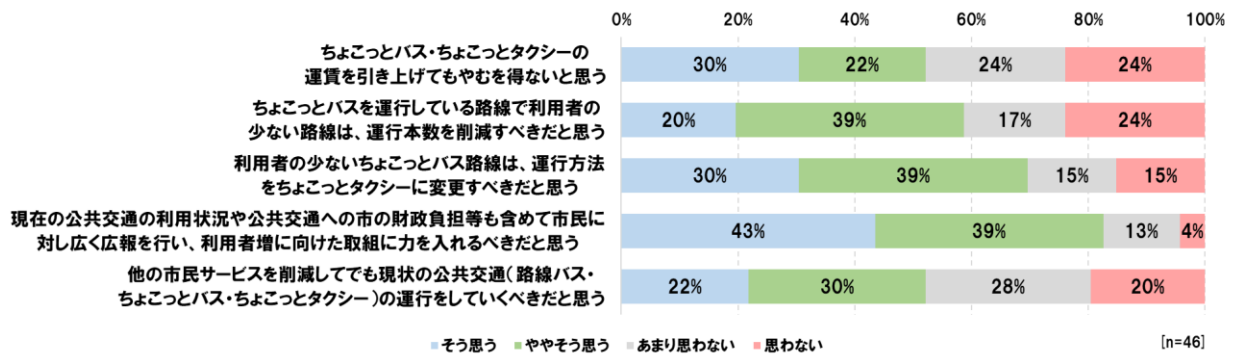
【玉緒・御園地域】



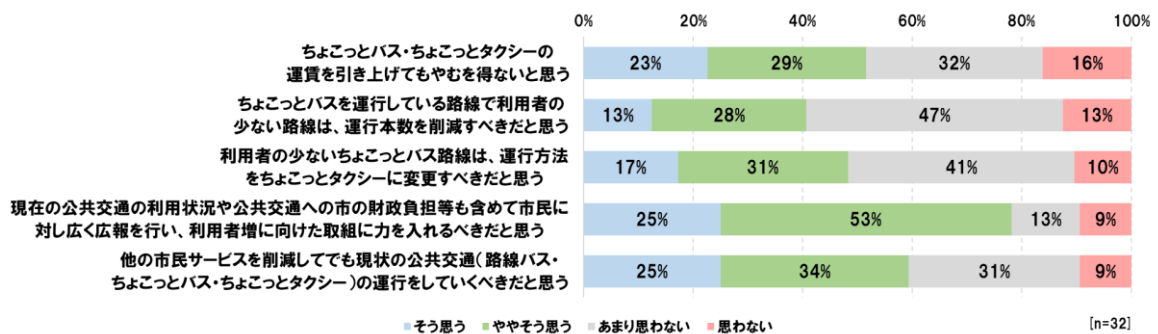
【永源寺地域】



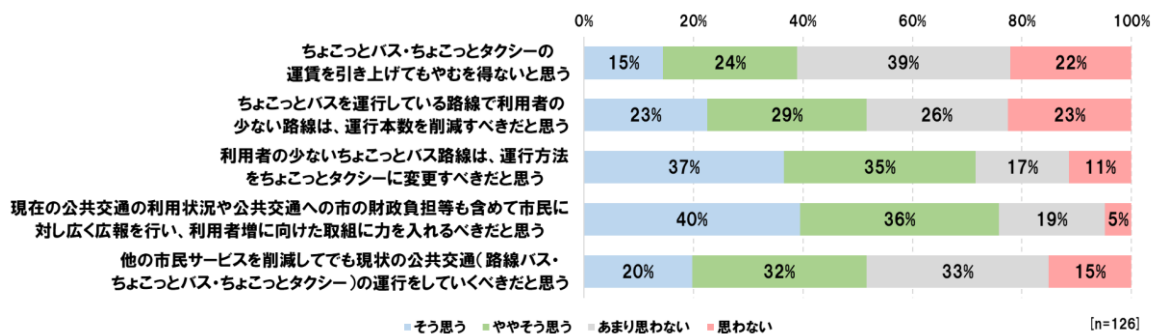
【五個荘地域】



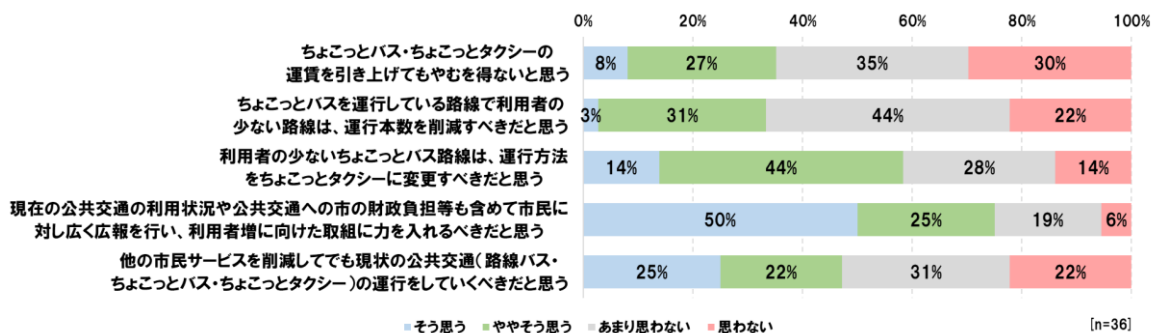
【愛東・湖東地域】



【能登川地域】



【蒲生地域】



イ 運賃支払意思額

現状の運賃以上でも構わないと回答した人が 95%

- ・現状維持（200 円）と回答した割合が約 4 %、100 円までの値上げを許容と回答した割合が約 86%

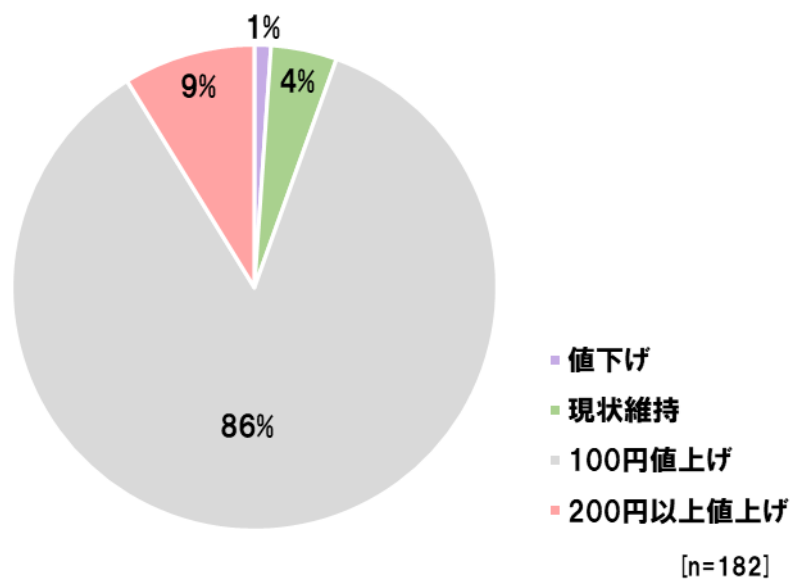


図 運賃支払意思額

2 近江鉄道定期券購入支援補助金申請におけるアンケート

(1) 通学手段

近江鉄道利用者の約4人に1人が最寄駅まで家族の送迎

- ・「近江鉄道」を利用している学生が約83%、「JR」を利用している学生が約32%
- ・「JR」での通学と回答した学生の約68%が専門学校・大学生
- ・「近江鉄道」利用者の約4人に1人が最寄駅までマイカー（家族の送迎）であり、地区別に見ると永源寺地域及び愛東・湖東地域において割合が高い。
- ・通学の時間帯は、永源寺地域の高校生の約39%、専門・大学生の約75%が「6時台」に家を出発すると回答し、他の地域よりも家を出発する時間が早い。
- ・高校への通学は、自宅を「7時台」に出発する地域が多いが、永源寺地域は「6時台」に出発すると回答した割合が他地域よりも高い。

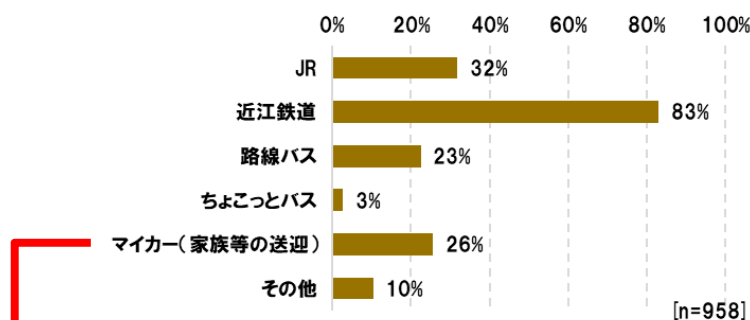
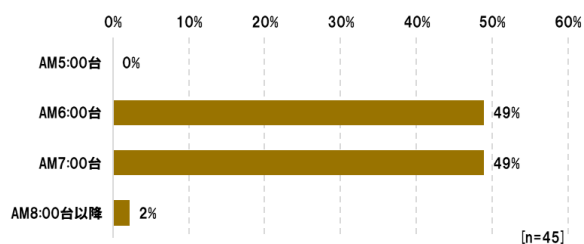


図 通学手段

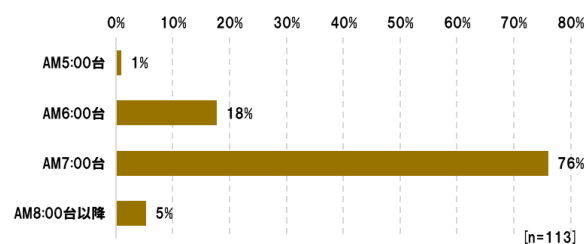
	母数	マイカー(家族の送迎)	構成比
八日市地域	385	44	11.4%
平田・市辺地域	74	19	25.7%
玉緒・御園地域	96	42	43.8%
永源寺地域	50	33	66.0%
五箇荘地域	44	11	25.0%
愛東・湖東地域	114	57	50.0%
能登川地域	37	5	13.5%
蒲生地域	158	34	21.5%
合計	958	245	25.6%

ア マイカー移動が多い地域の出発時間

【永源寺地域】

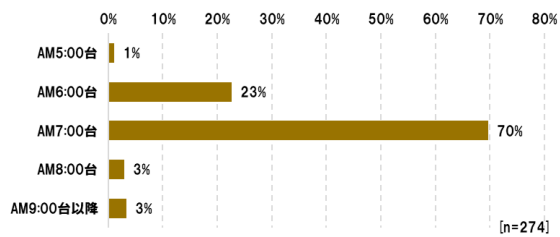


【愛東・湖東地域】

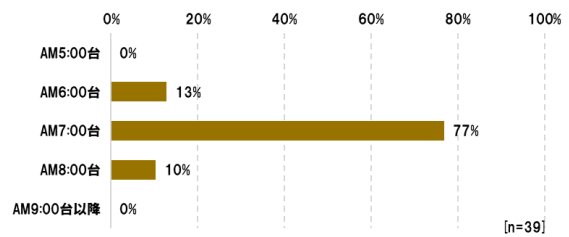


イ 教育機関別出発時間（高校生）

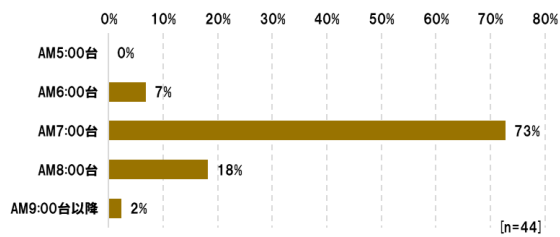
【八日市地域】



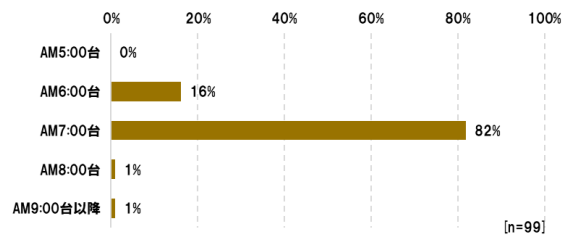
【五箇荘地域】



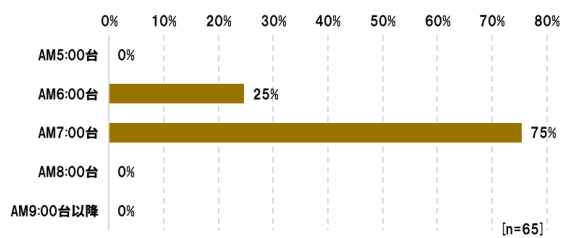
【平田・市辺地域】



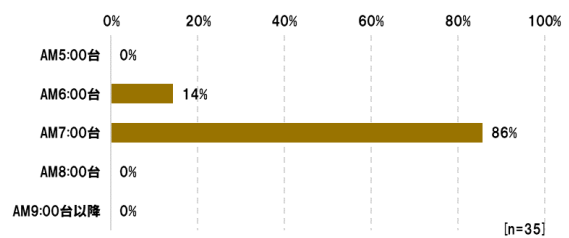
【愛東・湖東地域】



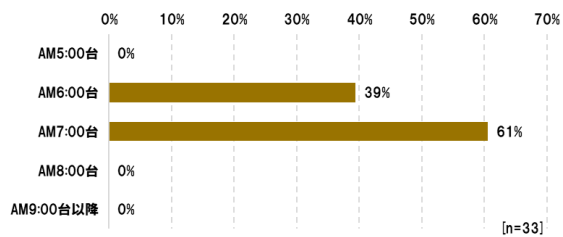
【玉緒・御園地域】



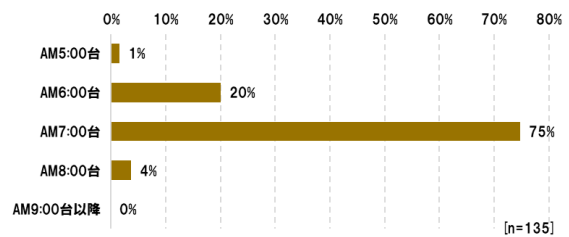
【能登川地域】



【永源寺地域】

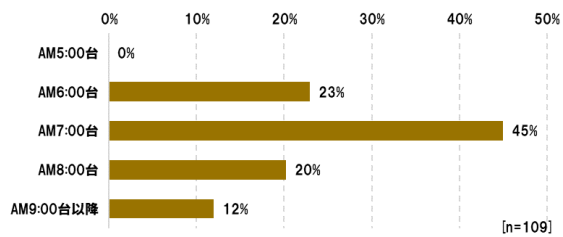


【蒲生地域】

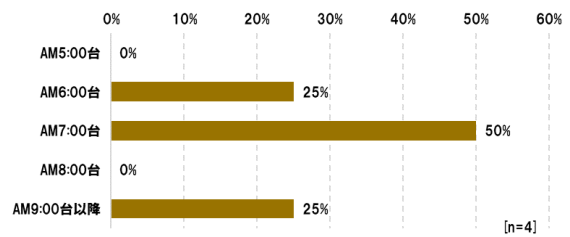


ウ 教育機関別出発時間（専門・大学生）

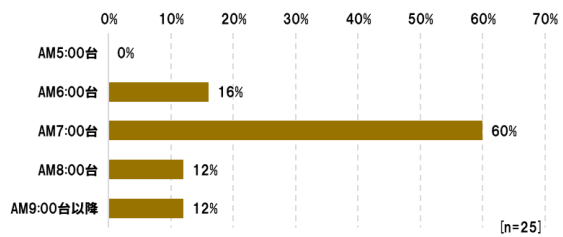
【八日市地域】



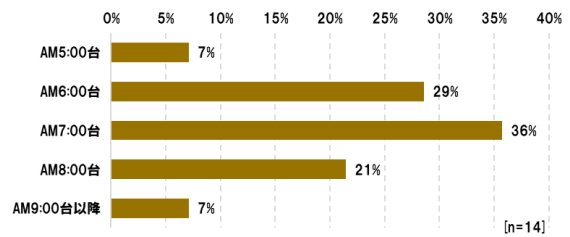
【五箇荘地域】



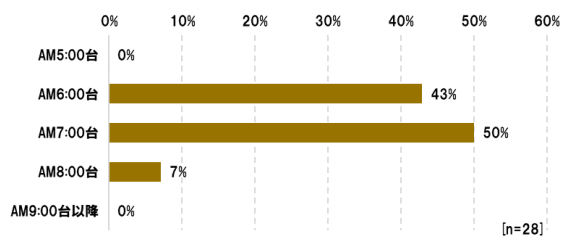
【平田・市辺地域】



【愛東・湖東地域】



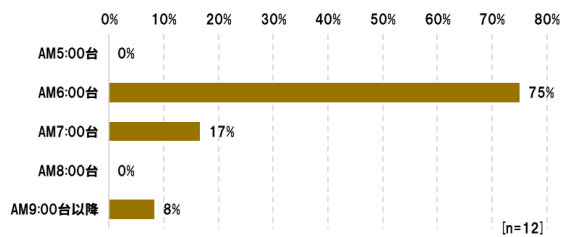
【玉緒・御園地域】



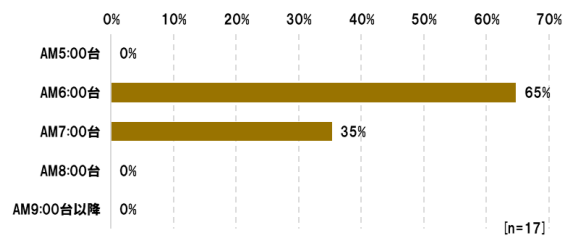
【能登川地域】

該当なし

【永源寺地域】



【蒲生地域】



(2) 最寄りの停留所や駅までの移動手段

徒歩又は自転車で移動している割合が最も多いが、家族の送迎も見られる

- ・「徒歩又は自転車で移動」している割合が約 71%
- ・「家族の送迎（あなたの通学のために送迎）」は約 21%
- ・家族の送迎を利用する理由としては、運行時間帯、運行路線、速達性に関する項目の値が高い。

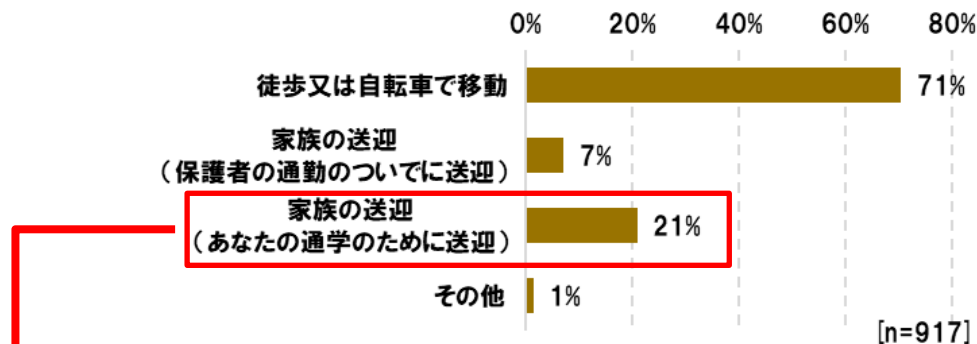


図 最寄りの駅や停留所までの移動方法

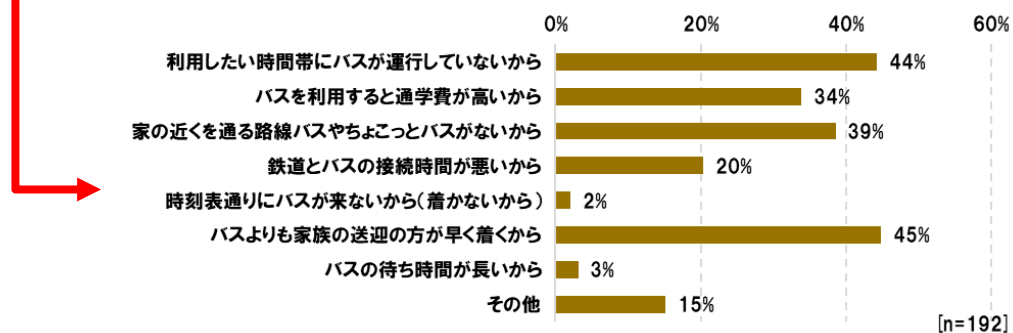
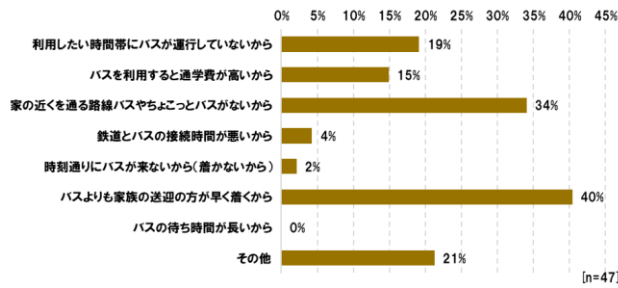
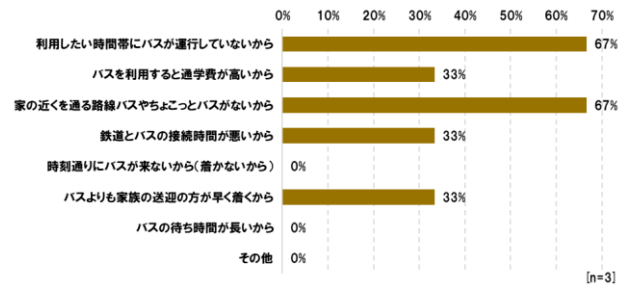


図 家族の送迎を利用する理由

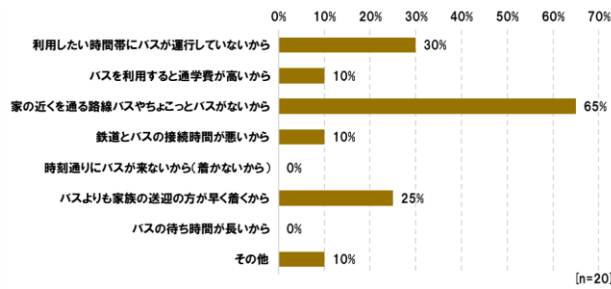
【八日市地域】



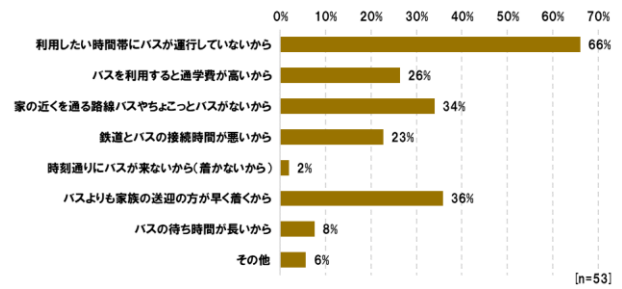
【五個荘地域】



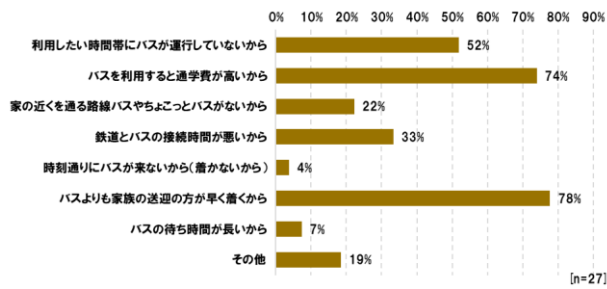
【平田・市辺地域】



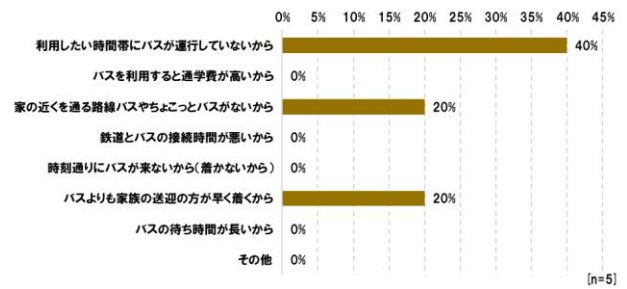
【愛東・湖東地域】



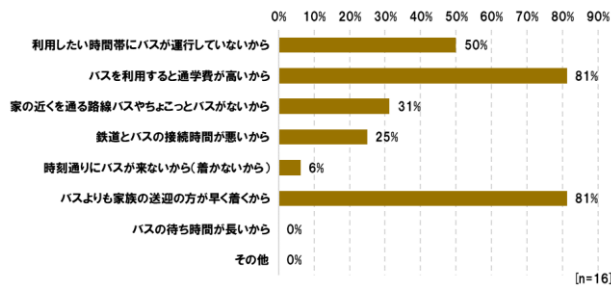
【玉緒・御園地域】



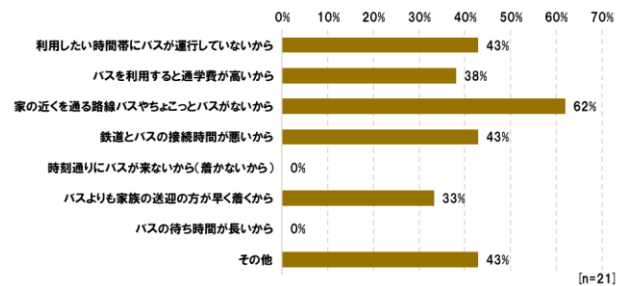
【能登川地域】



【永源寺地域】



【蒲生地域】



3 アンケート結果のまとめ

<移動及び公共交通の利用状況>

■車（マイカー）の保有・利用状況

- ・自由に車（マイカー）を利用できる人が約 78%と多い。
- ・車（マイカー）の利用状況は「週 5 回以上」が 62%と多く、高齢者でも 40%と高く、移動を車（マイカー）に頼っている。
- ・一方で、60 歳以上では運転免許証の自主返納を考えている割合が高くなっており、代替の移動手段としての公共交通の必要性は一層高くなるものと考えられる。

■日常生活での行先と移動手段

- ・通勤・通学の目的地は「市外」が半数を占め、買物、通院は「市内」が 80%以上
- ・通勤・通学の手段は車（マイカー）が約 77%と最も多い。
- ・買物は、「市内」の商業施設を利用がほとんどだが、能登川地域及び蒲生地域では「市外」での買物割合が他地域よりも高い。
- ・買物での移動手段は車（マイカー）が大半を占め、高齢者は家族等の送迎での買物も多い。
- ・通院は、市内の病院がほとんどであり、地域から近い病院を利用し、家族等の送迎も含め車（マイカー）が大半を占めている。
- ・外出時刻を見ると、買物、通院では午前中が多い。

■公共交通の利用状況

- ・JR、近江鉄道、路線バス、ちょこっとバス・ちょこっとタクシーの順に利用頻度は少ない。
- ・JRの利用頻度は、「年数回程度」以上利用するとの回答が約 60%ある。
- ・近江鉄道の利用頻度は、「年数回程度」以上利用するとの回答が約 22%あり、地域別では八日市地域、玉緒・御園地域では「年数回程度」以上利用するとの回答が約 32%あるが、蒲生地域では約 11%と低くなっている。
- ・路線バス及びちょこっとバス・ちょこっとタクシーの利用頻度は、「1 度も利用したことがない」「1 年以上利用していない」との回答が約 85%を超えている。
- ・近江鉄道を利用した通学の約 4 人に 1 人が最寄駅まで家族の送迎であり、地域別に見ると永源寺地域や愛東・湖東地域が多い。

■公共交通を利用しない理由

- ・路線バス・ちょこっとバス・ちょこっとタクシーを利用しない理由は「マイカーなどで自分で移動できる」が大半で、それ以外では、「利用したい時間帯に運行していない」「近くに停留所がない又は停留所が遠い」等となっている。
- ・路線バス・ちょこっとバス・ちょこっとタクシーを利用する理由は、広域移動や飲酒を伴うおでかけ等が約 30%近く、次に移動手段の制約が約 15%となっている。

<公共交通の認知度・考え方>

■公共交通（路線バス・ちょこっとバス・ちょこっとタクシー）の認知度

- ・路線バスと比較して、ちょこっとバス・ちょこっとタクシーに関する認知度は総じて低く、特に利用の動機づけになると考えられる「運行ルート」「運行本数」に関する認知度が低い。

■公共交通（路線バス・ちょこっとバス・ちょこっとタクシー）に対する考え

- ・市民の多くはちょこっとバス・ちょこっとタクシーの必要性を認識し、行政に対して公共交通利用に係る情報発信をしていくことを求めている。
- ・ちょこっとバス・ちょこっとタクシー運賃の値上げは、反対が約 55%と賛成を僅かに上回っている。
- ・ちょこっとバスの利用者が少ない路線に対しては、「運行本数削減」に賛成の約 45%よりも、「ちょこっとタクシーへの運行形態に変更」の賛成が約 65%と多い。

<自由意見>

■運行に関して

- ・ＪＲ・近江鉄道とちょこっとバスの接続改善等
- ・商業施設、病院、学校、団地内等への停留所追加設置
- ・朝夕の通勤・通学時間帯の増便
- ・（ちょこっとタクシーにおいて）時間帯フリー乗降への対応
- ・（ちょこっとタクシーにおいて）エリア間を自由に移動したい。
- ・乗り継ぎ利便性の向上、乗り継ぎ割引 等

■情報提供に関して

- ・インターネットでの情報提供
- ・アプリを利用した停留所情報の提供、受付予約
- ・バスの到着時間が随時わかるようにしてほしい。 等

■利用促進に関して

- ・利用方法を周知して欲しい。
- ・沿線店舗とのサービスの連携
- ・停留所に自転車駐車を整備してほしい。
- ・定期券購入者に特典を付与する。
- ・休日フリー切符の導入 等

聞き取り調査結果

(1) 移動実態

■買物

- ・旧八日市市（八日市、玉緒・御園、平田・市辺地域）は、八日市地域の施設利用が多い。
- ・永源寺地域は、八日市地域のアピアや地域内の八百亀の利用が多い。
- ・五個荘地域は、フレンドマート五個荘店の利用が多い。
- ・愛東・湖東地域の湖東地区は、市外の平和堂愛知川店、愛東地区はマックスバリュ八日市店や永源寺地域の八百亀等の利用がある。
- ・能登川地域は、フレンドマート能登川店の利用が多い。
- ・蒲生地域は、フレンドマート蒲生店やショッパー桜川等の利用が多い。

■通院

- ・基本的には居住する地域から近いかかりつけ医や総合病院に通院している。
- ・永源寺地域は、東近江総合医療センターや永源寺診療所への利用が多い。
- ・能登川地域は、能登川病院や水谷整形外科への利用が多い。

■通勤・通学

- ・タクシーの利用は、近江鉄道八日市駅等からホテルや工場までのビジネス（出張）利用がある。
- ・市内の高校は自転車による通学が多い。

(2) 公共交通利用実態

■買物

- ・買物利用は車（マイカー）がほとんど。
- ・ちょこっとバスの買物お帰りきっぷ事業を実施しているアピアでは、一定数の利用が見られる。
- ・店舗の最寄り停留所が離れた位置にあり、降車後に店舗がどこか分かりにくい状況であったが、店舗前に停留所を移設したところ、公共交通の利用者が増加した。

■通院

- ・通院に関する利用は車（マイカー）が多く、家族の送迎を利用する人も多い。
- ・送迎バスを運行している病院では、送迎バスを利用して通院している。
- ・行きは家族の送迎を利用し、帰りはタクシーやバスを利用する高齢者もいる。
- ・敷地内に路線バスやちょこっとバスが乗り入れしている病院では多少の利用が見られる。
- ・蒲生地域や能登川地域においては、蒲生医療センターや能登川病院の送迎バスを利用しているため、公共交通の利用は少ない。

■通勤・通学

- ・路線バス御園線は、通勤・通学利用が多い。
- ・路線バス神崎線は、五個荘小学校児童や高校生の利用が多い。
- ・路線バス日八線は、J R 近江八幡駅からの近江八幡市長福寺町地先の工場への通勤や近江八幡市や日野町方面への通学利用が多い。
- ・路線バス長峰線は、長峰団地からの通学利用が多い。
- ・路線バス角能線は、愛知川方面への通勤・通学利用が多い。
- ・ちょこっとバス市原線は、通勤・通学の利用が多い。
- ・ちょこっとタクシー五個荘エリアは、五個荘小学校児童の通学利用がある。

(3) 地域公共交通に対するニーズ

■商業施設関係

- ・能登川駅西口に路線バスの停留所があればよい。
- ・交通系 I C カード、スマホ決済等の導入
- ・エリアを周回するバスがあればよいのでは。
- ・バス利用でポイント加算したり、乗車券と交換したりできるシステム
- ・帰りのバスチケット配布も効果があるのではないかな。 等

■教育機関の声

- ・市内公立小中学校においてもスクールバスの運転手確保が課題となっており、公共交通を利用した通学への転換を検討したい。
- ・近江鉄道の運賃（定期代）が高く運行本数が少ないため、進学の実選択肢から外れるケースが増えてきている。

■医療関係

- ・到着時間や所要時間等をわかりやすくしてほしい。
- ・鉄道とちょこっとバスの乗り継ぎ利便性を高めてほしい。
- ・ちょこっとバスの時刻表をアプリ等で検索できるようにしてほしい。
- ・ベンチを設置する等の高齢者の公共交通待合環境を整えてほしい。 等

■観光関係

- ・電光掲示板等でバスの場所や到着までの所要時間が分かるようにしてほしい。
- ・観光シーズンだけでも良いので路線バスやちょこっとバスを増便してほしい。 等

■交通事業者

- ・乗り継ぎ割引の導入や接続性を高めてほしい。
- ・ちょこっとタクシーへの交通系 I C カードの導入も重要
- ・ちょこっとタクシーの運行を見直し、市民の利便性を高めてはどうか。 等

(4) その他の意見

■商業施設の声

- ・車(マイカー)利用が大半を占めているが、家族に送ってもらっている高齢者もいる。 等

■医療関係の声

- ・路線バスやちょこっとバスのダイヤに偏りがある。
- ・病院の送迎バスとちょこっとタクシーの利用可能時間をずらすことで効率的な利用が可能となりサービスレベルの向上につながる。
- ・停留所の場所や主要施設の最寄り停留所がどこか分らない。
- ・路線図が分かりにくい。 等

■教育機関の声

- ・八日市駅周辺を活性化してほしい。

■交通事業者の声

- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、利用者が減少
- ・ドライバー不足が深刻、長時間労働・長時間運転への対応が必要
- ・バスは交通渋滞による慢性的な遅延が深刻
- ・公共交通を利用して病院へ行きたいとの声もある。
- ・降車するのに危険な停留所がある。
- ・通常のタクシー利用者に乗務員がちょこっとタクシーの利用を周知することで、利用者が大幅に増加した。
- ・ちょこっとタクシーの運行内容を周知徹底することが大事 等

■行政機関の声

- ・路線バス・ちょこっとバスの停留所の場所が分かりにくい、路線図が小さく見にくいといった声がある。
- ・ちょこっとタクシーのエリア運行についてについて、共通エリア等を見直してほしいといった声がある。
- ・スクールバスや公共交通で登校している児童もあり、通学手段の確保が課題
- ・公共交通での観光地へのアクセスが難しい。
- ・市内に多くの企業が立地しているが、公共交通での通勤利便性が悪く、ハードルが高い。
- ・子どもの頃から公共交通機関に乗る習慣をつけることも大事ではないか。 等